

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	人間科学コース(哲学・人間学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)																																																																																																																																											
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 		<p>人間科学コースでは、人間の行動・思想・文化、思考・創造・歴史・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする人間科学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような人間科学コースの学習成果を上げた者とする。</p>																																																																																																																																											
<p>学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)</p> <p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、人間科学を構成する3つの専門分野における、分野全般を概観する「社会学概論A」、「哲学概論A・B」、「地理学概論A・B」を選択し学ぶことが推奨される。2年次には、専門分野の基本的考え方や基礎技術を習得するための「社会調査演習」、「社会統計学1」、「論理学」、「人間学基礎講義」、「地域調査基礎演習」、「地域調査基礎実習」などを学ぶ。3年次には、さらに高度な方法論や知識を修得するために「社会調査実習」、「西洋古代中世哲学特殊講義A」、「人間学特殊講義」、「地域調査応用演習」、「地域調査応用実習」などを学ぶ。(ただし、経過選択を可能としているので、各自の到達水準によって、履修時期を1年次から主として3年次までで、幅をもたせて設計している授業科目がある。)4年次には、「卒業論文演習A・B」での指導を受け、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次を通じて、人間科学および他の人文諸学の領域の基礎知識や最新トピックを講義および演習を通じて学ぶ。</p>		<p>コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p> <p>人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間・社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。</p> <p>自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。</p> <p>既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。</p> <p>現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。</p> <p>対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。</p> <p>情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。</p>																																																																																																																																											
<p>専門分野のカリキュラム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目番号</th> <th>授業科目</th> <th>学生の学習目標</th> <th>学年</th> <th>前期</th> <th>後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11012</td> <td>哲学概論A</td> <td>・現代哲学の諸問題をその基礎概念も含めて検討し、現代哲学の発想と主張を理解する。</td> <td>1～3</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>11013</td> <td>哲学概論B</td> <td>・現代哲学の諸問題をその基礎概念も含めて検討し、現代哲学の発想と主張を理解する。</td> <td>1～3</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>41301</td> <td>人間学概説</td> <td>・人間の可塑性、柔軟性、後天性を、人間の本质として理解する。</td> <td>1～3</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41302</td> <td>西洋古代中世思想史A</td> <td>・西洋古代・中世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>41303</td> <td>西洋古代中世思想史B</td> <td>・西洋古代・中世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41304</td> <td>西洋近世思想史A</td> <td>・西洋近世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。</td> <td>1～3</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>41305</td> <td>西洋近世思想史B</td> <td>・西洋近世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。</td> <td>1～3</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41306</td> <td>西洋倫理思想史A</td> <td>・倫理学の歴史(特に古代・中世の歴史)を学び、哲学的諸問題の史的展開や哲学者相互の影響関係を学ぶ。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>41307</td> <td>西洋倫理思想史B</td> <td>・倫理学の歴史(特に近現代の歴史)を学び、哲学的諸問題の史的展開や哲学者相互の影響関係を学ぶ。</td> <td>1～3</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41308</td> <td>論理学</td> <td>・命題論理学と述語論理学の基本を理解する。</td> <td>1～3</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41309</td> <td>現代英米哲学</td> <td>・現代英米哲学の諸問題に関して、自分の哲学的立場を明確にもち、ディフェンスできるようになる。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>41310</td> <td>倫理学A</td> <td>・倫理学とはいかなるものであるかについて自らの見解を提示できるようになる。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41311</td> <td>倫理学B</td> <td>・倫理学とはいかなるものであるかについて自らの見解を提示できるようになる。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41312</td> <td>応用倫理学</td> <td>・環境倫理について、その基本的主張や規範倫理との相違点を学ぶ。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>41313</td> <td>西洋古代中世哲学特殊講義A</td> <td>・古代・中世倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>41314</td> <td>西洋古代中世哲学特殊講義B</td> <td>・古代・中世倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41315</td> <td>近世哲学特殊講義</td> <td>・近世の哲学者の思想についてその独自性や影響関係を理解する。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>41316</td> <td>現代哲学特殊講義</td> <td>・現代の哲学者の思想についてその独自性や影響関係を理解する。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>41317</td> <td>古代中世倫理思想特殊講義</td> <td>・西洋古代・中世の倫理思想に関わる特定の問題について現代の問題への適用可能性も視野に入れつつ深く理解する。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41318</td> <td>近世倫理思想特殊講義</td> <td>・近世の倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41319</td> <td>現代倫理思想特殊講義</td> <td>・現代の倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。</td> <td>2～4</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41320</td> <td>人間学基礎講義</td> <td>・哲学的人間学に関する基礎知識を学び、哲学の問題に独自の視点や解釈する力を身につける。</td> <td>1～3</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				科目番号	授業科目	学生の学習目標	学年	前期	後期	11012	哲学概論A	・現代哲学の諸問題をその基礎概念も含めて検討し、現代哲学の発想と主張を理解する。	1～3		◎	11013	哲学概論B	・現代哲学の諸問題をその基礎概念も含めて検討し、現代哲学の発想と主張を理解する。	1～3		◎	41301	人間学概説	・人間の可塑性、柔軟性、後天性を、人間の本质として理解する。	1～3		○	41302	西洋古代中世思想史A	・西洋古代・中世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	2～4		◎	41303	西洋古代中世思想史B	・西洋古代・中世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	2～4		○	41304	西洋近世思想史A	・西洋近世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	1～3		◎	41305	西洋近世思想史B	・西洋近世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	1～3		○	41306	西洋倫理思想史A	・倫理学の歴史(特に古代・中世の歴史)を学び、哲学的諸問題の史的展開や哲学者相互の影響関係を学ぶ。	2～4		◎	41307	西洋倫理思想史B	・倫理学の歴史(特に近現代の歴史)を学び、哲学的諸問題の史的展開や哲学者相互の影響関係を学ぶ。	1～3		○	41308	論理学	・命題論理学と述語論理学の基本を理解する。	1～3		○	41309	現代英米哲学	・現代英米哲学の諸問題に関して、自分の哲学的立場を明確にもち、ディフェンスできるようになる。	2～4		◎	41310	倫理学A	・倫理学とはいかなるものであるかについて自らの見解を提示できるようになる。	2～4		○	41311	倫理学B	・倫理学とはいかなるものであるかについて自らの見解を提示できるようになる。	2～4		○	41312	応用倫理学	・環境倫理について、その基本的主張や規範倫理との相違点を学ぶ。	2～4		◎	41313	西洋古代中世哲学特殊講義A	・古代・中世倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2～4		◎	41314	西洋古代中世哲学特殊講義B	・古代・中世倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2～4		○	41315	近世哲学特殊講義	・近世の哲学者の思想についてその独自性や影響関係を理解する。	2～4		◎	41316	現代哲学特殊講義	・現代の哲学者の思想についてその独自性や影響関係を理解する。	2～4		◎	41317	古代中世倫理思想特殊講義	・西洋古代・中世の倫理思想に関わる特定の問題について現代の問題への適用可能性も視野に入れつつ深く理解する。	2～4		○	41318	近世倫理思想特殊講義	・近世の倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2～4		○	41319	現代倫理思想特殊講義	・現代の倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2～4		○	41320	人間学基礎講義	・哲学的人間学に関する基礎知識を学び、哲学の問題に独自の視点や解釈する力を身につける。	1～3		○
科目番号	授業科目	学生の学習目標	学年	前期	後期																																																																																																																																								
11012	哲学概論A	・現代哲学の諸問題をその基礎概念も含めて検討し、現代哲学の発想と主張を理解する。	1～3		◎																																																																																																																																								
11013	哲学概論B	・現代哲学の諸問題をその基礎概念も含めて検討し、現代哲学の発想と主張を理解する。	1～3		◎																																																																																																																																								
41301	人間学概説	・人間の可塑性、柔軟性、後天性を、人間の本质として理解する。	1～3		○																																																																																																																																								
41302	西洋古代中世思想史A	・西洋古代・中世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	2～4		◎																																																																																																																																								
41303	西洋古代中世思想史B	・西洋古代・中世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	2～4		○																																																																																																																																								
41304	西洋近世思想史A	・西洋近世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	1～3		◎																																																																																																																																								
41305	西洋近世思想史B	・西洋近世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	1～3		○																																																																																																																																								
41306	西洋倫理思想史A	・倫理学の歴史(特に古代・中世の歴史)を学び、哲学的諸問題の史的展開や哲学者相互の影響関係を学ぶ。	2～4		◎																																																																																																																																								
41307	西洋倫理思想史B	・倫理学の歴史(特に近現代の歴史)を学び、哲学的諸問題の史的展開や哲学者相互の影響関係を学ぶ。	1～3		○																																																																																																																																								
41308	論理学	・命題論理学と述語論理学の基本を理解する。	1～3		○																																																																																																																																								
41309	現代英米哲学	・現代英米哲学の諸問題に関して、自分の哲学的立場を明確にもち、ディフェンスできるようになる。	2～4		◎																																																																																																																																								
41310	倫理学A	・倫理学とはいかなるものであるかについて自らの見解を提示できるようになる。	2～4		○																																																																																																																																								
41311	倫理学B	・倫理学とはいかなるものであるかについて自らの見解を提示できるようになる。	2～4		○																																																																																																																																								
41312	応用倫理学	・環境倫理について、その基本的主張や規範倫理との相違点を学ぶ。	2～4		◎																																																																																																																																								
41313	西洋古代中世哲学特殊講義A	・古代・中世倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2～4		◎																																																																																																																																								
41314	西洋古代中世哲学特殊講義B	・古代・中世倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2～4		○																																																																																																																																								
41315	近世哲学特殊講義	・近世の哲学者の思想についてその独自性や影響関係を理解する。	2～4		◎																																																																																																																																								
41316	現代哲学特殊講義	・現代の哲学者の思想についてその独自性や影響関係を理解する。	2～4		◎																																																																																																																																								
41317	古代中世倫理思想特殊講義	・西洋古代・中世の倫理思想に関わる特定の問題について現代の問題への適用可能性も視野に入れつつ深く理解する。	2～4		○																																																																																																																																								
41318	近世倫理思想特殊講義	・近世の倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2～4		○																																																																																																																																								
41319	現代倫理思想特殊講義	・現代の倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2～4		○																																																																																																																																								
41320	人間学基礎講義	・哲学的人間学に関する基礎知識を学び、哲学の問題に独自の視点や解釈する力を身につける。	1～3		○																																																																																																																																								

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	人間科学コース(哲学・人間学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 		<p>人間科学コースでは、人間の行動・思想・文化、思考・創造・歴史・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする人間科学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような人間科学コースの学習成果を上げた者とする。</p>	
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)		コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)	
<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、人間科学を構成する3つの専門分野における、分野全般を概観する「社会学概論A」、「哲学概論A・B」、「地理学概論A・B」を選択し学ぶことが推奨される。2年次には、専門分野の基本的考え方や基礎技術を習得するための「社会調査演習」、「社会統計学1」、「論理学」、「人間学基礎講義」、「地域調査基礎演習」、「地域調査基礎実習」などを学ぶ。3年次には、さらに高度な方法論や知識を修得するために「社会学調査実習」、「西洋古代中世哲学特殊講義A」、「人間学特殊講義」、「地域調査応用演習」、「地域調査応用実習」などを学ぶ。(ただし、経過選択を可能としているので、各自の到達水準によって、履修時期を1年次から主として3年次までで、幅をもたせて設計している授業科目がある。)4年次には、「卒業論文演習A・B」での指導を受け、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これに加え、2～4年次を通じて、人間科学および他の人文諸学の領域の基礎知識や最新トピックを講義および演習を通じて学ぶ。</p>		<p>人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間・社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。</p> <p>自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。</p> <p>既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。</p> <p>現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。</p> <p>対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。</p> <p>情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。</p>	
専門分野のカリキュラム			
科目番号	授業科目	学生の学習目標	学年 前期 後期
41321	人間学特殊講義	・哲学的人間学に関する発展的知識を学び、哲学の問題に独自の視点や解釈する力を身につける。	2~4
41322	西洋古代中世哲学基礎演習A	・古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41323	西洋古代中世哲学基礎演習B	・古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
42324	西洋古代中世哲学演習A	・古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41325	西洋古代中世哲学演習B	・古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41326	西洋古代中世哲学研究演習A	・古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41327	西洋古代中世哲学研究演習B	・古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41328	近世哲学基礎演習A	・西洋近世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41329	近世哲学基礎演習B	・西洋近世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41330	近世哲学演習A	・西洋近世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41331	近世哲学演習B	・西洋近世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41332	近世哲学研究演習A	・西洋近世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41333	近世哲学研究演習B	・西洋近世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41334	現代哲学基礎演習	・現代西洋の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41335	現代哲学演習	・現代西洋の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41336	現代哲学研究演習	・現代西洋の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4
41337	現代英米哲学基礎演習	・現代の英米系哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	人間科学コース(哲学・人間学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)									
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 		<p>人間科学コースでは、人間の行動・思想・文化、思考・創造・歴史・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする人間科学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような人間科学コースの学習成果を上げた者とする。</p>									
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)		コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)									
<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、人間科学を構成する3つの専門分野における、分野全般を概観する「社会学概論A」、「哲学概論A・B」、「地理学概論A・B」を選択し学ぶことが推奨される。2年次には、専門分野の基本的考え方や基礎技術を習得するための「社会調査演習」、「社会統計学1」、「論理学」、「人間学基礎講義」、「地域調査基礎演習」、「地域調査基礎実習」などを学ぶ。3年次には、さらに高度な方法論や知識を修得するために「社会学調査実習」、「西洋古代中世哲学特殊講義A」、「人間学特殊講義」、「地域調査応用演習」、「地域調査応用実習」などを学ぶ。(ただし、経過選択を可能としているので、各自の到達水準によって、履修時期を1年次から主として3年次まで間で、幅をもたせて設計している授業科目がある。)4年次には、「卒業論文演習A・B」での指導を受け、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次を通じて、人間科学および他の人文諸学の領域の基礎知識や最新トピックを講義および演習を通じて学ぶ。</p>		<p>人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間・社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。</p> <p>自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。</p> <p>既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。</p> <p>現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。</p> <p>対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。</p> <p>情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。</p>									
専門分野のカリキュラム											
科目番号	授業科目	学生の学習目標	学年	前期	後期						
41338	現代英米哲学演習	・現代の英米系哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4				○		○	○	○
41339	現代英米哲学研究演習	・現代の英米系哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4				○	○	○	○	○
41340	倫理想基礎演習	・倫理学に関する基礎的な知識・考え方を、原典を読解することで身につける。	2~4				◎		○		
41341	倫理想演習	・倫理学に関する一般的な知識・考え方を、原典を読解することで身につける。	2~4				○		○		○
41342	倫理想研究演習	・倫理学に関する発展的な知識・考え方を、原典を読解することで身につける。	2~4				○		○		○
41343	応用倫理学基礎演習	・応用倫理学に関する文献の読解を通じて、応用倫理の基礎概念を学び、倫理的思考とはいかなるものかを理解する。	2~4				◎		○		
41344	応用倫理学演習	・応用倫理学に関する文献の読解を通じて、従来の規範的倫理学に還元されない応用倫理学の原理、視点を理解する。	2~4				○		○	○	○
41345	人間学基礎演習	・哲学的人間学の基礎を学び、その特質を理解する。	2~4				◎		○		
41346	人間学演習	・哲学的人間学を、原典読解を通じて学び、その特質を理解する。	2~4				○		○		○
41347	人間学研究演習	・哲学的人間学を、原典読解とプレゼンを通じて学び、その特質を理解する。	2~4				○	○	○		○
31001	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。	4	*				◎			
31002	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。 ・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。	4		*			◎			
31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文学的学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。	4		*			◎			
11001	人文学序説1	・人文諸学の専門分野で学ぶ内容の概要を把握する。 ・人文学類における学問の全体をイメージできるようにする。	1	*				◎			
11002	人文学序説2A	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・ラボラトリ(実験)、テキスト(文献読解)、サーベイ(調査と分析)、フィールド(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*			◎			

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	人間科学コース(哲学・人間学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)							
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 		<p>人間科学コースでは、人間の行動・思想・文化、思考・創造・歴史・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする人間科学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような人間科学コースの学習成果を上げた者とする。</p>							
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)		コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)							
<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、人間科学を構成する3つの専門分野における、分野全般を概観する「社会学概論A」、「哲学概論A・B」、「地理学概論A・B」を選択し学ぶことが推奨される。2年次には、専門分野の基本的考え方や基礎技術を習得するための「社会調査演習」、「社会統計学1」、「論理学」、「人間学基礎講義」、「地域調査基礎演習」、「地域調査基礎実習」などを学ぶ。3年次には、さらに高度な方法論や知識を修得するために「社会学調査実習」、「西洋古代中世哲学特殊講義A」、「人間学特殊講義」、「地域調査応用演習」、「地域調査応用実習」などを学ぶ。(ただし、経過選択を可能としているので、各自の到達水準によって、履修時期を1年次から主として3年次までで、幅をもたせて設計している授業科目がある。)4年次には、「卒業論文演習A・B」での指導を受け、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次を通じて、人間科学および他の人文諸学の領域の基礎知識や最新トピックを講義および演習を通じて学ぶ。</p>		人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間・社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。	自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。						
既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。	現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。	対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。	情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。						
専門分野のカリキュラム									
科目番号	授業科目	学生 習得 目標	学 年	前 期	後 期				
11003	人文学序説2B	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・人文学の基礎的素養としての歴史学について、歴史資料の捉え方、研究の課題、研究方法の基礎的な知識を理解する。	1		*	○			
11004	人文学序説2C	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・人文学の基礎的素養としての言語学・文学について、基本的な視座や研究方法についての基礎的な知識を理解する。	1		*	○			
11005	学類共通英語1	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	2		*		○		◎
11006	学類共通英語2	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・「学類共通英語1」より高いレベルで、英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	3	*			○		◎